

国土交通省北海道開発局と連携協力に関する協定を締結しました

北海道大学広域複合災害研究センターは国土交通省北海道開発局と 2020 年 10 月 2 日（金）に連携協力に関する協定を締結しました。締結式は本学事務局 2 号館大会議室で執り行われ、広域複合災害研究センターからは山田孝 教授（センター長）、笠井美青 准教授（副センター長）、厚井高志 准教授が、北海道開発局からは倉内公嘉 開発局長、米津仁司 次長、岡下淳 開発調整課長が出席しました。また、締結式に先立って寶金清博 総長を表敬訪問し、協定締結の経緯や内容について説明しました。

広域複合災害研究センターは 2019 年 4 月に本学に設置された学内共同施設です。農学、工学、理学、文学等を専門とする学内教員から構成されており、研究、教育、社会貢献（アウトリーチ）の 3 つを柱としています。気候変動や地殻変動が活発化する中で、今後、種々の自然災害が連鎖複合することで災害が激甚化することも想定されます。広域複合災害研究センターではその実態解明や課題を整理しつつ、減災手法を提案していくことを一つの使命としています。

減災手法の検討に際し、災害対応の実務に長けた北海道開発局との連携協力は不可欠です。本連携協定の締結は、広域複合災害・北海道開発分野における研究・技術開発、人材育成の推進を目的としています。協定締結により災害時のみならず平常時から緊密な連携協力を推進していくこととなります。今後は、教育・研究上の情報交換を行うなどして防災に係る人材育成を相互にはかるほか、広域複合災害研究センターが主催する研究集会や講義、研究プロジェクト等への北海道開発局の参画、広域複合災害研究センターからは北海道開発に係る施策・事業に対する助言、災害に関する助言を行っていく予定です。

（広域複合災害研究センター）



協定書を持つ山田センター長（左）と倉内開発局長（右）



報道関係者からの質問にもお答えしました。